

稲沢市 観光まちづくり ビジョン

第 2 次 稲 沢 市 観 光 基 本 計 画



稲沢の“光”をつなぐ
観光まちづくり



計画の進捗状況（2019 年度年次報告書）

稲 沢 市

1 成果指標と目標値の達成状況について

稲沢市観光まちづくりビジョンにおいて、計画最終年（2027年）の目標として掲げた指標に対する今年度の達成状況は下表のとおりでした。

■稲沢市観光まちづくりビジョン成果指標

項目	2017年 (基準値)	2019年 (実績)	2022年 (中間値)	2027年 (目標値)
年間観光入込客数	253.6万人 ^{※1}	262万人	350万人	500万人
稲沢市の「観光振興」に対する市民満足度 ^{※2}	31.2%	(28.8%)	↗	50.0%
稲沢市に対して誇りや愛着を持つ市民の割合 ^{※2}	69.7%	(64.3%)	↗	80.0%

※1：愛知県観光レクリエーション利用者統計の数値（2,116,468人）にサリオパーク祖父江の利用者数（419,507人）を加えたもの。ただし、2016年中の数値。

※2：2017年は市政アンケート調査結果【2017年5月実施】、2019年は市政世論調査結果【2018年8月実施】による（隔年実施のため）。

■年間観光入込客数の推移

単位：(人)

観光レクリエーション 資源・施設	2016年	2017年	2018年	2019年
荻須記念美術館	41,815	53,411	57,542	50,711
尾張大國霊神社(国府宮)	1,054,754	1,006,431	1,374,182	883,849
国府宮はだか祭	80,000	150,000	195,000	250,000
稲沢桜まつり	9,200	4,500	4,000	8,000
いなざわ植木まつり	49,000	55,000	55,000	41,100
稲沢あじさいまつり	57,000	48,000	54,000	54,000
稲沢まつり	94,000	46,000	107,000	76,000
矢合観音	102,000	102,000	102,000	75,000
稲沢夏まつり	45,000	50,000	54,500	56,000
福祉まつり	5,179	5,429	4,998	4,930
そぶえイチョウ黄葉まつり	155,000	215,000	271,750	259,450
稲沢サンドフェスタ	35,000	44,000	51,000	開催中止
いなざわ梅まつり	22,000	23,000	25,700	25,000
善光寺東海別院	366,520	332,040	410,100	403,500
サリオパーク祖父江	419,507	416,061	435,263	417,871
稲沢イルミネーション	未計上	8,000	12,600	15,000
合計	2,535,975	2,558,872	3,214,635	2,620,411

■その他イベント、祭り、産直広場、施設への来訪者数（2019年）

単位：(人)

矢合観音節分祭（2月3日）	500人
へいわさくらまつり（4月6日）	7,000人
尾張の虫送り（7月6日）	300人

こがしまつり（7月27日）	2,000人
円光寺菘まつり（9月7日・8日）	200人
国分寺マルシェ（毎月3日）	8,000人
矢合十八番市（毎月18日）	1,100人
やわせ！てくてくスタンプラリー♪ くいなざわ観光まちづくりラボ企画> （3月3日）	27人
稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会」と「庭木を楽しむスワッグ作り」 くいなざわ観光まちづくりラボ企画> （11月10日）	22人
明治なるほどファクトリー愛知	30,000人
メタウォーター下水道科学館あいち	85,188人
JA 愛知西産直広場 一色下方店	234,579人
JA 愛知西産直広場 下津店	136,363人
JA 愛知西産直広場 国府宮店	167,702人
JA 愛知西産直広場 大里店	118,817人

■参考指標

項目	2018年度 （実績）	2019年度 （実績）	2022年 （中間値）	2027年 （目標値）
市内観光消費額 （一人当たり）	2,287円	2,602円※	↗	4,000円

※：2019年11月調査時点

2 重点アクションプランの進捗状況について

「いなざわ観光まちづくりラボ」の推進



いなざわ観光まちづくりラボとは・・・

「いなざわ観光まちづくりラボ」は、稲沢市観光まちづくりビジョンに基づき、稲沢市の観光まちづくりを推進するため、2018年7月に設立された市民主体による実践組織です。

稲沢市観光協会がファシリテーターとなりながら、市民や民間事業者、関係機関・団体、行政等、地域づくりの担い手の方々や稲沢市に愛着を持ってみえる方々の活動や思いをつなげ、ネットワーク化を図ることで、それぞれの役割やノウハウを活かし合える環境を整備し、稲沢市の特色を活かした観光・交流事業の創出や魅力の再発掘・再構築に取り組んでいます。

(1) ロードマップ

ロードマップ				
2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
立ち上げ・運営	事業の企画・実施	→ 自立に向けた検討		→

(2) 2019年度の経緯・経過

PickUp

- ✓ 組織運営面での自主性・自立性の向上を目指し、ラボの運営方法の見直しを行った。その結果、ラボのファシリテーターの役割を稲沢市観光協会とラボの中心メンバーが協働で担うことになった。
- ✓ ラボが「多様な主体の出会いと価値共創の場」となることを目指し、会議の開催方法の見直しを行った。その結果、今後の会議は、「運営会議」(ラボの運営方法を検討協議する場であり、全体会議で話し合うプロジェクトを提案・選定するための会議)と「全体会議」(プロジェクトに対してメンバー全員で意見を出し合い、実現性や発展性を高めるための会議)の2本立てで開催していくことになった。

① 会議等の開催状況

項目	開催日・会場	内容
リーダー会議	2019年5月8日	・今年度のラボの運営について
	稲沢市産業会館 2階・第1会議室	
ラボ会議	2019年6月4日	・今年度のラボの運営について
	稲沢市役所本庁舎 1階・大会議室	
第1回運営会議	2019年7月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について ・プロジェクト発表 ・プロジェクト選定 ・大澤 健氏（和歌山大学経済学部教授／いなざわ観光まちづくりラボアドバイザー）による講評
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	
第1回全体会議	2019年8月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト協議 ① 稲沢農業ツアーリング事業 ② 稲沢初の「国宝」を誕生させるプロジェクト
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	
第2回運営会議	2019年10月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト発表 ・ラボメンバーによるいなざわ魅力体験バスツアーの計画について
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	

ラボメンバーによる いなざわ魅力体験バス ツアー	2019年11月9日	・ラボメンバーによる市内観光資源の体験見学と価値共有 (長光寺、祖父江のホタルを守る会実験田、善光寺東海別院、中華料理北京、稲沢フルーツ園、勝幡城跡)
	市内各地	
第2回全体会議	2019年12月24日	・事業の実施報告 ①ラボメンバーによるいなざわ魅力体験バスツアー ② 稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会」と「庭木を楽しむスワッグ作り」
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	
第3回全体会議	2020年1月30日	・ラボの「のぼり旗」作成について ・「やわせ！てくてくウォーキング♪」の実施について ・ラボの規約について ・プロジェクト発表
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	
第4回全体会議	2020年2月20日	・今年度の振り返りと今後の計画について ・大澤教授による講評
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	

◆その他グループ・メンバー間でミーティングを随時実施

■のぼり旗のイメージ



② プロジェクトの活動状況（2020年1月末時点）

プロジェクト1 「稲沢まるごとイルミネーション」

稲沢市に縁のあるLEDを活用し、市民や企業等の連携により市内全体をイルミネーションで彩ることで、「冬の稲沢に人々が集う場所を作る」、「市民のまちへの愛着を増やす」、「市内へ通勤・通学する人々に稲沢市との接点を持ってもらう」ことを目指すプロジェクト。

【2019年度の主な活動】

2019年11月16日～12月25日：国府宮参道をメイン会場として「2019稲沢イルミネーション」(第4回)を開催。
期間中の来場者数は15,000人。

稲沢のまちを、優しく包みます。

この口唄る輝きが、稲沢のまちを、優しく包みます。

点灯式
11月16日(土)
17:30

12月14日
イベント開催
ナイトマルシェ
18:00～20:00
星川楽器
マラソンコンサート
15:00～19:00

2019稲沢
イルミネーション

11月16日(土)～
12月25日(水)

点灯時間:17:00～21:00
場所:国府宮駅～国府宮参道

http://inaillumi.com/

主催:稲沢イルミネーション実行委員会 お問い合わせ:事務局 0587-81-5000

会長挨拶

景色LED明かりがある稲沢で冬に人々が集う場所を市民の手で作りたいという思いで始まった稲沢イルミネーションも今年で4回目を迎えました。国府宮参道の第二高層から観望できるロータリーをはじめとする周辺地域をイルミネーションで彩ります。

また、稲沢に大規模な商業施設がある稲沢市がホテルのようにゆめめくベトナムホテル、稲沢市内の金23小学校の1・2年生に書いてもらったメッセージカードを取り付け、市民の皆さんでイルミネーションを作っています。近くにお寄りの際は是非足を伸ばしてみてください。

稲沢イルミネーション実行委員会 会長 宮野 剛彦

稲沢イルミネーションイベント開催!

イルミネーション 点灯式	お楽しみ ナイトマルシェ	星川楽器 マラソンコンサート
11月16日(土) 17:10～17:40	12月14日(土) 15:00～20:00	12月14日(土) 15:00～19:00

国府宮参道から観望できるイルミネーションで彩ります。稲沢市内の23小学校の1・2年生のメッセージカードを取り付け、市民の手で作り出すイルミネーションです。

稲沢の子供たちから応援のメッセージカードが送られてきたので、イルミネーションの中で、エレキギター演奏のライブを行います。子供たちの応援メッセージカードを取り付け、イルミネーションや演奏を共に楽しみましょう。

15:00～ 無料の受付開始

7:10 受付開始
7:30 点灯式
17:40 終了(17:30以降は、無料)

国分寺マルシェ
12月14日(土)
15:00～19:00
国分寺地区公民館で開催

稲沢イルミネーション実行委員会

優秀賞:稲沢市共通1万円分商品券!

フォトコンテスト開催!

フォトジェニックなスポットも満載!! SNSで盛り上げよう!

Instagram: #稲沢イルミネーション #フォトコンテスト #稲沢イルミネーション2019

駐車場のご案内

会場には駐車スペースが少ないため、公共交通機関、自転車、徒歩での来場がおすすめです。

- ①神社西側 36台
- ②神社東側 21台
- ③神社南側 53台
- ④総合文化センター 北棟47台

※11月16日のみ、17:00～19:00の間、無料です。

協賛企業

稲沢イルミネーションは下記協賛企業より協賛しています。

豊田合成株式会社 株式会社山田設計 エスビー建材株式会社 株式会社永井水道設備 株式会社リハース	尾張大國霊神社(国府宮) ナゲツク株式会社 稲沢本町倉庫株式会社 株式会社トスコ 東栄工業株式会社 市川建設株式会社 株式会社石川農園
--------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

実行委員会

稲沢市、稲沢町工業振興課、愛知文教女子短期大学、名古屋文理大学、稲沢市立第三中学校、稲沢市立南陽中学校、豊田合成株式会社、(一社)稲沢青年会議所(稲沢、稲沢)

プロジェクト2 「やわせ！ てくてくウォーキング♪」 NEW

矢合地区内の文化財や名所を巡りながら楽しくウォーキングしてもらうことで、奈良時代から今日まで続く稲沢の古い歴史を体感してもらうプロジェクト。

【2019年度の主な活動】

2020年3月8日：昨年度の「やわせ！ てくてくスタンプラリー♪」に引き続き、いなざわ梅まつりの協賛イベントとして開催予定。

<ウォーキングスポット> 尾張国分寺跡、矢合の杜梅園、安楽寺(船橋)

プロジェクト3 「つなごう つながろう 稲沢」

情報ポータルサイト「いいな ざわざわ」を通じて、市内各地に点在する稲沢の魅力を「発信」し「連鎖」させることで、稲沢の観光情報の集約を目指したプロジェクト。

【2019 年度の主な活動】

新規掲載数:14 記事

登録記者(情報発信者)数:21 人

(※2019 年 12 月末時点)

プロジェクト4 「稲沢グリーンツーリズム」 NEW

稲沢市の代表的な産業である植木をメインに、矢合観音をはじめとする矢合地区周辺の魅力を体感できるツアーを企画することで、地域内の経済効果を生み出し、稲沢市の活性化を図るプロジェクト。

【2019年度の主な活動】

2019年11月10日：矢合地区にて、稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会」と「庭木を楽しむスワッグ作り」を開催。
参加者22名(定員30名)。参加費一人当たり5,000円。

稲沢グリーンツーリズム

**「植木畑の観察会」と
「庭木を楽しむスワッグ作り」**

11/10 (日) 愛知県稲沢市矢合町
10:00～15:30

植木の四大産地に数えられる稲沢。
木々の緑の中でマイナスイオンに包まれながら、注目の植木を栽培する農園スタッフが案内する観察会と人気ガーデナーが講師を務めるスワッグ作り体験がいっしょに楽しめます。

【植木畑の観察会】
株式会社 園分農園
日本自らの植木などを中心に、農木の生産技術や生産現場を学ぶ。エッセリアムガーデニア乳花園に毎年出店している。

【スワッグ作り体験】
講師 弓削美香 (花デザイン会代表)
スワッグとは花や葉を束ねて壁に付けるフラワーアレンジメント。
「オーガニックな暮らし」暮らしに彩を。庭や車に飾ります。

参加費
1名様 (中学生以上)
5,000円 (昼食、スワッグ代含む)
定員30名 (先着)

集合場所
ふれあいサロン＆ギャラリー東郷堂前 (矢合観音寺境内)

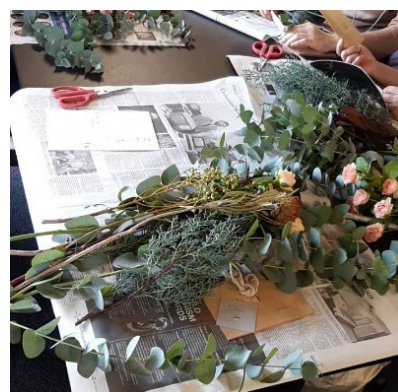
集合時間 午前10:00

ツアースケジュール
10:00 園分農園にて集まり観察会
12:00 門前屋にて特別ランチ
13:30 スワッグ作り体験
14:30 矢合観音開成寺敷
または近隣の農産店でお買い物 (500円分の割引チケット付き)

アクセス
名鉄IC1「名鉄国府宮前」より約15分
「矢合観音前」下車
お車の方 近隣の観音寺駐車場
ご利用ください

MAP

ご予約・問い合わせ
TEL 080-8260-7238
FAX 0587-36-2374
E-mail yawase1@gigamail.com
いなざわ観光まちづくり協議会
緑と歴史ある稲沢グループ



プロジェクト5 「稲沢農業ツアーリング事業」 NEW

市内にある特徴的な農園を回るバスツアーを企画することで、稲沢市の多彩な農業を市内外の人々に知ってもらおうとともに、農業支援に繋げるプロジェクト。農園同士の連携によるイノベーション創出と新たな6次製品の開発の契機となることを目指す。

【2019年度の主な活動】

2019年11月9日：ラボメンバーによるいなざわ魅力体験ツアーで祖父江のホテルを守る会実験田と稲沢フルーツ園を見学(農園主等によるガイド付き)。プロジェクトの実施に向けて、メンバー間で資源の持つ魅力と価値の共有を図った。



プロジェクト6 「稲沢市初の『国宝』を誕生させるプロジェクト」

NEW

市民、関係団体、行政が一体となり、重要文化財(当初候補:長光寺の「鉄造地藏菩薩立像」と「地藏堂」)の『国宝』指定に挑戦することで観光まちづくり活動の具現化を図り、シビックプライドの醸成と「歴史・文化都市 稲沢」の価値向上を目指すプロジェクト。

【2019 年度の主な活動】

2019 年8月 22 日: ラボメンバーで長光寺を見学(稲沢市ふるさとガイドの会によるガイド付き)。

2019 年 11 月9日: ラボメンバーによるいなざわ魅力体験ツアーで長光寺を再訪(住職等によるガイド付き)。プロジェクトの実施に向けて、メンバー間で資源の持つ魅力と価値の共有を図った。

そ の 他: 関係者へのヒアリングを随時実施



プロジェクト7 「いなざわ観光まちづくりラボ共同企画 ローズ倶楽部イベント」

NEW

名古屋のシニア活動団体「ローズ倶楽部」が主催するイベントを「いなざわ観光まちづくりラボ」と提携して年4回実施することで、稲沢市への観光誘客に繋げるプロジェクト。

※ローズ倶楽部とは、(株)中日メディアブレンが毎月発行するシニア向け中日新聞折込み情報誌「ローズ」(名古屋市内で約 51 万部発行)の読者会員組織。会員数は約 1,200 名で、年間 120 回のイベント、講座を主催している。

【2019 年度の主な活動】

2020 年2月4日：「重要文化財『汗かき地蔵』のミステリーと矢合観音」を開催予定。
定員 20 名。参加費一人当たり 4,000 円。



ローズ倶楽部 2020年 1-2月号 イベント

**いなざわ観光まちづくりラボ共同企画
重要文化財「汗かき地蔵」のミステリーと矢合観音**

稲沢市長光寺には国宝級の重要文化財、六角地蔵堂と鑄鉄製の地蔵があります。地元で「汗かき地蔵」として知られる鑄鉄製の地蔵がなぜこの地に多数存在するのか、若き信長が愛飲したとされる井戸「臥松水」の謎と共にご住職からお話しを伺います。昼食の後は高名な矢合(やわせ)観音のお水取りと観音様拝観。長光寺も矢合観音も熟練したガイド付きです。

昼食 美寿吉

昼食付き

日 時 / 2月4日(火) 9:10~15:30
定 員 / 20人
参 加 費 / 4,000円(会員)、4,500円(同業者)
受付場所 / JR清洲駅改札出口 9:00~9:10
写真提供=長光寺

🌸 **その他進行中のプログラム**

プロジェクト8 「尾張国分寺跡&矢合から 歴道ウォーク」

“奈良時代の尾張国分寺跡”、“鎌倉時代の矢合の植木”、“江戸時代的美濃路”といった市内の史跡を巡る「歴道ウォーク」イベントを企画することで、歴史を通じて稲沢市の魅力を発信していくプロジェクト。

プロジェクト9 「『稲沢・サリオパーク祖父江』を世界へ！」

稲沢市の魅力の一つである「サリオパーク祖父江」をフィールドとして、スポーツや自然体験を通じて地域の活性化を図るプロジェクト。

(3) 成果指標の達成状況

成果指標				
項目	2017年度	2018年度	2019年度※2	目標値(2022年度)
メンバー数	31※1	52	55	100
プロジェクト実施数	0	4	9	10

※1：稲沢市観光基本計画アクションプラン検討会議のメンバー数

※2：2020年1月末時点

3 アクションプランの進捗状況と今後の方針について

- ▶ 別添「稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）アクションプラン進捗状況【2019年度実績】」のとおり。